



2019年
04月01日
No.A18-12

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2019年3月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・3月26日(火)、宮本 雄二 元駐中華人民共和国大使「習近平政権の現状と展望」(於：ホテルオークラ)。



<要旨>

冒頭、中国政府で現在起きている習近平国家主席への権力集中などについて詳説した。そのうえで、中国政府に対する人民の不満と経済成長の関係、習近平政権の対外政策、米中関係の動向などについて説明した。

(2) 中東情勢講演会

・3月18日(月)、青山 弘之 東京外国語大学教授「最新世論調査と写真・映像を通して展望する「内戦」後のシリア」(於：AP 東京丸の内)。

<要旨>

講師らがシリアで行った最新の世論調査報告と、講師自身が撮影した画像・映像を用いて、シリアの現状と国内避難民の世論について解説した。



2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2019年03月号(2019年04月01日付)

1. アフガニスタン：大統領選挙の再延期
2. アルジェリア：大統領選挙の延期、軍トップによる大統領辞任要求
3. シリア：シリア・イラク・イランの三カ国参謀長会議の開催
4. トルコ：エルドアン大統領が、遊説中にニュージーランドのモスク襲撃動画を放映
5. パレスチナ：ガザでハマースに反対する抗議デモ

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポート【会員限定】

- ・No.9「試練に直面するネタニヤフ首相と国会選挙の行方」(協力研究員 中島勇、3月13日付、3月18日公開)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】 (5) その他の活動

- ・No.19「イスラーム国」の妻たち(3月1日)
- ・No.20「トランプ大統領がシリアでの「イスラーム国」打倒を宣言」(3月5日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

- No.109「シリア：イドリブ県で「大学」が多数閉鎖される」(主席研究員 高岡豊、3月7日)
- No.110「アルジェリア：ブーテフリカ大統領5期目に反対する抗議デモの広がり」(研究員 金谷美紗、3月8日)
- No.111「イラン：保守強硬派ライースィー師の司法長官任命」(研究員 近藤百世、3月8日)
- No.112「アルジェリア：大統領選挙の延期、国民会議の開催を発表」(研究員 金谷美紗、3月12日)
- No.113「イラク：イランのロウハーニー大統領の来訪」(主席研究員 高岡豊、3月13日)
- No.114「イスラエル・パレスチナ：テルアビブへのロケット弾発射事件」(主席研究員 高岡豊、3月15日)
- No.115「シリア：ゴラン高原をめぐる動き」(主席研究員 高岡豊、3月22日)
- No.116「イスラエル：リクード党と「青と白」連合の選挙戦の様相」(研究員 西舘康平、3月26日)

- No.117「シリア：ゴラン高原をめぐる動き#2」(主席研究員 高岡豊、3月26日)
- No.118「イエメン：家庭用ガスの不足のため、人々は柴刈りに行く」(主席研究員 高岡豊、3月29日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

- ・3月14日(木)、外部講演会、研究員 近藤百世「米国によるイラン核合意離脱から中東の現在を読み解く」(於：国際善隣協会)。



<要旨>

米国によるイラン核合意離脱と制裁再開に対し、各国がどのような動きを見せているかについて解説した。その上で、イランを起点に中東情勢全体の現況と展望について考察した。

- ・3月26日(火)、モハメッド・エルミ駐日チュニジア大使が、当会の齋木理事長を表敬訪問。



- ・3月29日(木)、中国人民大学の崔守军副教授が当会に来訪。

